

能

NOH

体感講座

写真：能「巻絹」より

伝統芸能、出会いの楽しみ

【入門編】

「3・15いばらき能をより楽しむために…」

3月15日公演の「いばらき能～巻絹」の事前講座ですが、初めての方も楽しみながら学べる入門講座となっています。日本を代表する伝統芸能「能」の世界へ、あなたをやさしく誘います。

◆開講日

2月1日(土) 午後2時～午後4時

◆会場

茨木クリエイティブセンター2階・多目的ホール
〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号 072-624-1726
JR茨木駅から東へ徒歩10分、阪急茨木市駅から西へ徒歩10分

◆内容

- ①能のお話し ②3・15いばらき能の演目解説 ③DVD鑑賞
④謡の体験 等

◆講師

観世流能楽師 山本章弘

◆定員

150人(就学前のお子様はご遠慮ください)

◆受講料

500円

◆お申込み・お問合せ

(公財)茨木市文化振興財団・文化事業係

☎072-625-3055(ユアアイホール1階 午前9時～午後5時)

*12月13日(金)午前9時から電話予約開始

*受付初日(12/13)は電話予約のみ。定員に達しない場合は翌日から下記のチケットカウンターでも受け付けます。

①ユアアイホールチケットカウンター(午前9時～午後5時)

②クリエイティブセンターチケットカウンター(午前9時～午後5時)

◆その他プレイガイド(12月13日店頭販売あり午前10時～)

ローソンチケット0570-000-777

Lコード予約0570-084-005(Lコード59143)

*ローソン各店舗で直接購入可

【親子編】

「親子で挑戦!はじめての能」

感性豊かな子どもたちと伝統芸能との出会い。「謡」「舞」「能面」「装束」「楽器」について、実際に体験していただくプログラムです。ご家族と一緒に挑戦してください!

◆開講日及び内容

①2月 8日(土) 「能の謡と舞って面白い!」

②2月22日(土) 「能面と装束を見てみよう!」

③3月 1日(土) 「能に出てくる楽器をやってみよう!」

時間：各日とも午後2時～午後3時30分

◆会場

茨木クリエイティブセンター2階・多目的ホール
〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号 072-624-1726
JR茨木駅から東へ徒歩10分、阪急茨木市駅から西へ徒歩10分

◆講師

観世流能楽師 山本章弘 ①②

能楽師幸流小鼓方 古田知英 ③

能楽師金春流太鼓方 上田慎也 ③

◆対象・定員

小学生とその保護者20人

*3回通しで参加いただける方

*靴下、または足袋をご持参ください

◆受講料

3回通し一人1,000円

◆お申込み・お問合せ

(公財)茨木市文化振興財団・文化事業係

☎072-625-3055(ユアアイホール1階 午前9時～午後5時)

*12月13日(金)午前9時から電話予約開始

*受付初日(12/13)は電話予約のみ。予約後は1週間以内に下記のチケットカウンターでご精算ください。定員に達しない場合は翌日から下記のチケットカウンターでも受け付けます。

①ユアアイホールチケットカウンター(午前9時～午後5時)

②クリエイティブセンターチケットカウンター(午前9時～午後5時)

【講師】山本章弘(やまもと・あきひろ)

昭和35年11月生まれ。幼少より父、故山本真義に師事し、昭和58年、故25世宗家観世左近に入門。昭和63年独立。現在26世宗家観世清和に師事。3歳にて初舞台。主な披曲は「石橋」「猩々乱」「道成寺」「望月」「翁」「安宅」「砦」など。海外公演は、米・ワシントン、インド、オーストラリア、イタリア、フランス等に参加。公益社団法人能楽協会理事。重要無形文化財保持者総合指定。日本能楽会々員。関西大学文学部卒業。関西大学能楽部顧問。観世流発祥の地・奈良県結崎にある川西小学校の総合学習の能楽講師をつとめるほか、「アートによる能案内」「能とあそぼう」など、子ども達へ能楽の普及に努める。公益財団法人山本能楽堂代表理事として、「とくい能」「上方伝統芸能ナイト」などの新事業を立ち上げ、あらゆる世代に向け新たな能の魅力を伝えるべく、積極的に普及活動を行っている。「大阪文化祭奨励賞」「なにわ大賞大阪21世紀協会賞」などを受賞。

●山本能楽堂公式ホームページ<http://www.noh-theater.com/>



【講師】上田慎也(うへだ・しんや)

昭和47年生まれ。大叔父・梅田邦久はシテ方観世流職分。実弟・上田敦史は小鼓方大倉流。昭和54年、独調「杜若」にて初舞台。平成5年、大阪能楽養成会修了。平成4年、「石橋」を披く。平成5年、「猩々乱」を披く。平成8年、「望月」を披く。平成10年、「道成寺」を披く。オーストラリア、フランス、台湾、チリ、アメリカ、モンゴル、ロシアなど海外公演に多数参加。能楽協会大阪支部所属。金春流太鼓方職分会桐星会会員。阪神囃子連盟調和会会員。近畿大学文学部国文学科卒。大阪府熊取町在住。

【講師】古田知英(ふるた・ともひで)

昭和49年2月、福岡県生まれ。西宮市在住。幸流小鼓方職分。公益社団法人能楽協会神戸支部所属。一般社団法人京都能楽囃子方同明会所属。人間国宝・曾和博朗に師事。幼少時代、父の指導を受ける(福岡)。9歳、18世幸流家元・幸正悟師の元で修行を積む(福岡)。27歳、人間国宝曾和博朗師の元に内弟子に入る(京都)。28歳、「猩々乱」・「石橋」を披く。33歳、「道成寺」を披く。35歳、「翁 頭取」を披く。アメリカ、フランス、ドイツ、フィンランド等、海外公演にも多数参加。幸流小鼓教室～小鼓JAPON～を主催し、神戸・京都・東京・福岡で開講中。

茨木市文化振興財団第166回公演

[12月13日予約開始]

いばらき能—NOH@IBARAKI 「巻絹」

- ◆平成26年3月15日(土) 午後2時開演(午後4時30分終演予定) ◆茨木クリエイトセンター・センターホール
- ◆[全席指定] 一般3,500円/65歳以上、障害者及びその介助者3,000円/青少年(24歳以下) 1,000円
- ◆予定演目 ◎能・狂言・舞 解説 ◎仕舞「屋島」山本章弘 ◎お囃子解説 ◎狂言「棒縛」小笠原 匡
◎能「巻絹」山本章弘

【巻絹あらすじ】

帝の勅命により巻絹を熊野三社に奉納することになり、都から巻絹を届ける使者(ツレ)は途中、熊野の音無天神へ詣で、梅が見事に咲いているのを見て和歌を詠んでいたため、遅くなる。そのため、熊野本宮で待っていた勅使(ワキ)のところに行くと、納期に遅れたことを理由に下人(アイ)に縛められてしまう。そのとき音無天神の霊が憑いた巫女(シテ)が現われ、使者が遅れた理由を説明し、証拠として、使者に詠んだ和歌の上の句を詠ませ、巫女が下の句を詠み、縄を解く。その後、天竺で釈迦が仏になったのは和歌のおかげであると和歌の偉徳を賛えて舞い、続けて勅使の求めに応じて祝詞をあげ舞うが、突然霊が去り正気に戻るのだった。

【見どころ】

曲名の「巻絹」とは、軸に巻き付けた絹の反物の意味です。

難解な仏教用語が多く登場しますが、一種の呪文であり、ストーリーには直接関係はありませんので、細かい意味よりも巫女が神楽を奏しながら神懸かりの体を強めていく様子を楽しんでいただきたいと思います。

使者が和歌を詠んだ音無天神は熊野本宮の近くにある神社。使者が和歌を詠んだ梅は鳥居の近くにあったそうですが、明治22年の大水害で本宮の社殿が大損害を受けたときに、梅も被害を受けて伐採され、今は残らないとのこと。

◆お申込み・お問合せ

茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎072-625-3055(午前9時～午後5時)
〒567-0888 茨木市駅前四丁目7番50号 茨木市市民会館1階

◆クリエイトセンター(茨木市市民総合センター)茨木市駅前四丁目6番16号/072-624-1726

